

事業等の実施状況等について [H25年度新規事業]

資料 1-2

追加事業	振興の方向性	基本方針	推進施策	主な取組み	事務・事業名	事業期間	事業概要	予算額 (千円)	24年度までの実施・検討状況	25年度の実施内容	26年度以降の実実施計画	実施主体 (所管)	関係機関等
	1	1	1	2	よかもん自慢支援事業	H25年度～	「かごしまの新特産品コンクール」において、市長賞等を受賞した商品を対象に、受賞者が受賞商品の販路拡大を図る際の経費を助成する。	(予算額) 1,050 (決算見込額) 645	H17年度から県・県特産品協会と共に「かごしまの新特産品コンクール」開催	1 実施方針 コンクール開催後、市長賞及び県知事賞等の受賞者に対し助成(受賞した翌年度まで実施する事業に限る) 2 スケジュール (1)前年度受賞者に対する助成(4月～) (2)コンクール開催(10月) (3)当年度受賞者に対する助成(10月～) 3 H25年度実績状況(H25年1月末) 2012受賞者 2件、2013受賞者 3件	継続実施予定	産業支援課	
○	1	1	3	1	桜島・錦江湾資源活用商品創出支援事業	H25年度～	桜島・錦江湾の地域資源を活用した商品・サービスの開発や販路開拓等を支援するとともに、商品開発などを担う人材を育成することで、地域ブランドを活用した新商品等の開発を支援する。	821	—	(1)資源可能性調査 (2)商品等開発勉強会の開催準備 (3)桜島・錦江湾の地域資源を活用した商品等の開発支援準備 (4)(3)で開発を行った商品の販路開拓支援準備	(1)商品等開発勉強会の開催 (2)桜島・錦江湾の地域資源を活用した商品等の開発支援 (3)(2)で開発を行った商品の販路開拓支援を継続実施予定	産業創出課	
	1	1	4	2	おおた研究・開発フェア	H25年度～	「産学連携」「産産連携」「技術移転」「新製品・新技術のPR」を目的とした展示会へ鹿児島大学の研究シーズを出展。来場者の半数近くは大田区の企業である。大田区は中小のモノづくり企業が集積する日本のモノ作りの土台を支える地域である。	200	H24年度に展示会事務局より参加の打診を受け、出展する運びとなった。	平成25年10月3,4日にかけて鹿児島大学の研究者2名とパネル展示を行った。	平成26年度も出展予定	鹿児島大学産学官連携推進センター	
	1	2	2	1	観光イベント創出支援事業	H25年度～	民間団体が実施する、多くの市民や観光客を呼び込める新たなイベントに対する補助制度を設け、本市の新たなイベントとして定着を図る。	(予算額) 1,322 (補正後) 1,322 (決算見込額) 1,322	第2期鹿児島市観光未来戦略の推進 “基本戦略1-6)四季を通じたイベントづくり”	1. 実施方針 民間団体が実施する、多くの市民や観光客を呼び込める新たなイベントに対する補助制度を設け、本市の新たなイベントとして定着を図る。 2. スケジュール (1)イベントの募集(4月～5月) (2)助成団体の決定(5月末) (3)助成団体によるイベント内容の調整(平成26年4月にイベントの開催) 3. 成果指標の目標値 毎年度1イベントを選び、最終的に5つ程度の新たなイベントを創出	1. 実施方針 同左 2. スケジュール(当該年度選定分) (1)イベントの募集(4月～5月) (2)助成団体の決定(5月末) (3)助成団体によるイベント内容の調整 (4)イベントの実施 ※上記に加え、既選定イベントを実施	観光企画課	
○	1	2	2	2	桜島・錦江湾ジオパーク旅行商品造成調査事業	H25年度～ H26年度	ジオの観点から地域資源の調査等を行い、ジオの魅力を活かした旅行商品の造成のための調査を行う。	(予算額) 7,320 (決算見込額) 7,320	第2期鹿児島市観光未来戦略の推進 “基本戦略1-10)滞在型観光の推進による経済効果の増大”	1. 実施方針 将来的な世界ジオパーク認定を見据え、桜島・錦江湾ジオパークにおけるツアー等の充実を図るため、ジオの魅力を活かした旅行商品の企画、試験的実施等を行う。 2. スケジュール (1)桜島のジオ資源の調査 (2)観光客向けジオツアーに関するニーズの調査 (3)観光客向けジオツアーの企画及び試験的実施 3. 成果指標の目標値 報告書の作成	1 今後の実施方針 同左 2 スケジュール (1)桜島・錦江湾ジオパーク旅行商品の企画 (2)桜島・錦江湾ジオパーク旅行商品の試験的実施	観光企画課	
	1	2	2	2	映画撮影等誘致支援事業	H25年度～	鹿児島島の魅力の発信につながる映画等に対し助成する。	(予算額) 10,000 (決算見込額) 10,000	第2期鹿児島市観光未来戦略の推進 “基本戦略2-3)鹿児島ならではの魅力・おすすめ情報の発信による認知度向上	1 実施方針 鹿児島島の魅力の発信につながる映画や連続ドラマを誘致し、その製作に係るロケ経費及びPR経費に対して助成する。なお、補助対象作品の審査は選考審査会による審査を行う。 2 スケジュール ・選考審査会の開催(4月)→映画「六月燈の三姉妹」を補助対象作品とすることを決定 ・ロケ経費分500万円(9月支出) ・PR経費分500万円(26年4月支出予定) 【映画】 ・鹿児島ロケ実施(5月) ・南九州先行ロードショー開始(11月9日～) ・全国公開(26年5月予定) 3 成果指標の目標値(H25年末) 25年度補助対象作品 映画「六月燈の三姉妹」1件	1 実施方針 鹿児島島の魅力の発信につながる映画や連続ドラマを誘致し、その製作に係るロケ経費及びPR経費に対して助成するほか、26年度からは、新たに市内宿泊施設へ連続2日以上かつ延べ50泊以上宿泊するロケについても助成を行う。 2 スケジュール 未定	観光振興課	

事業等の実施状況等について [H25年度新規事業]

資料 1-2

追加事業	振興の方向性	基本方針	推進施策	主な取組み	事務・事業名	事業期間	事業概要	予算額 (千円)	24年度までの実施・検討状況	25年度の実施内容	26年度以降の実実施計画	実施主体 (所管)	関係機関等
	1	2	2	2	観光地来訪状況調査事業	H25年度	第2期観光未来戦略の推進にあたっての基礎資料とするため、湯之平展望所等の観光地において、来訪状況調査を行う。	(予算額) 2,010 (決算見込額) 2,010	第2期鹿児島市観光未来戦略の推進 “基本戦略2-1)ニーズの把握とターゲットの明確化	1. 実施方針 第2期鹿児島市観光未来戦略推進にあたっての基礎資料とするため、市内の管理者のいない観光地において、来訪状況調査を実施する。 2. スケジュール 市内観光地16か所(桜島側6か所、市街地側10か所)での来訪状況調査(4月25日~11月25日) 3. 成果指針の目標値 報告書の作成	—	観光企画課	
○	1	2	2	2	着地型旅行商品造成調査事業	H25年度 ~ H26年度	市内の観光資源を活かした、体験型・交流型の要素を取り入れた着地型旅行商品の造成のための調査を行う。	(予算額) 11,020 (決算見込額) 10,920	第2期鹿児島市観光未来戦略の推進 “基本戦略1-10)滞在型観光の推進による経済効果の増大”	1. 実施方針 性別や年代などによって異なる観光客の様々なニーズに対応するため、体験型・交流型の要素を取り入れた着地型旅行商品の企画、試験的实施等を行う。 2. スケジュール (1)観光資源の掘り起し (2)着地型旅行商品の企画 (3)着地型旅行商品の試験的实施 3. 成果指針の目標値 報告書の作成	1 今後の実施方針 同左 2 スケジュール (1)着地型旅行商品の企画 (2)着地型旅行商品の試験的实施	観光企画課	
	1	2	4	1	こなみずき&サンマルツァーノ商品開発プロジェクト	H25年度~	平成27年度に鹿児島市・ナポリ姉妹都市盟約55周年を迎えることを踏まえ、ナポリ市近郊を原産地とするトマト「サンマルツァーノ」と鹿児島産さつまいもの澱粉「こなみずき」を原料とするコラボ商品の開発・販売に、JA鹿児島県経済連を中心として取り組み、55周年に向けた機運を高めようとするもの。	—	—	株式会社ケダバンの製造のもと、サンマルツァーノとこなみずきを原料としたピザパン(商品名:サンコーナ)を25年10月1日から、南九州ファミリーマートの各店舗で販売を開始。	継続実施予定	JA鹿児島県経済連ほか	国際交流課
	1	3	1	3	クールジャパン推進事業	H25年度~	ジェトロが実施するBtoBへの支援を基本とするプロモーションを通じて、コンテンツ、ファッション、デザイン、食品等の分野における日本の魅力ある製品及びサービスを広くPRする。	—	—	事業概要の通り	継続実施予定	ジェトロ	
	2	1	2	2	中小製造業者創業・新分野進出等支援事業	H25年度~	地域経済の活性化や雇用機会の確保を図るため、創業や新たな分野への進出、規模拡大に取り組む中小製造業者に対し、経営計画の策定、研究開発、設備投資等を支援する。	200,000	—	1 対象者 創業や新分野への進出、規模拡大に取り組む県内に事業所を有する中小製造業者 2 対象分野 自動車、電子、食品、環境・新エネルギー、健康・医療、バイオ関連の製造業 3 助成対象事業(助成率、助成限度額) (1)ソフト支援 ・ 経営計画の策定(2/3以内、800千円/年) ・ 人材育成(1/2以内、120万円/年) ・ 試作・研究開発(2/3以内、400万円/年) ・ マーケティング・販路開拓(1/2以内、150万円/年) ・ 専門家の招へい(2/3以内、90万円/年) (2)ハード支援 ・ 経営計画に基づく製造の用に供する設備投資(新規雇用常用者数3人以上) (設備投資額(下限1千万円)×2%+新規雇用常用者数×30万円、2千万円)	1 対象者 創業や新分野への進出、規模拡大に取り組む県内に事業所を有する中小製造業者 2 対象分野 自動車、電子、食品、環境・新エネルギー、健康・医療、バイオ関連の製造業 3 助成対象事業(助成率、助成限度額) (1)ソフト支援 ・ マーケティング・販路開拓(1/2以内、150万円/年) ・ 人材育成(1/2以内、120万円/年) ・ 試作・研究開発(2/3以内、400万円/年) ・ 専門家の招へい(2/3以内、90万円/年) (2)ハード支援 ・ 経営計画に基づく製造の用に供する設備投資(新規雇用常用者数3人以上) (設備投資額(下限1千万円)×2%+新規雇用常用者数×30万円、2千万円)	産業立地課(県)	一部委託先: (公財)かごしま産業支援センター
	2	2	1	1	再生可能エネルギー導入促進事業	H25年度~	再生可能エネルギーの導入促進を図るため、産学官連携による調査・研究を行う。	7,058	—	1 実施方針 小水力、風力、温泉熱などの本市の地域資源を活かした再生可能エネルギーの導入を促進するため、学識経験者や民間事業者等で構成する再生可能エネルギー導入促進研究会を設置して、民間活力を活用した再生可能エネルギーの利用推進に向けた取組の具現化策を産学官連携により調査・研究する。 2 スケジュール (1)再生可能エネルギー導入促進研究会の設置及び開催(9月~) (2)太陽光発電、小水力発電、バイオマスエネルギーの各検討部会の設置及び開催(10月~) (3)研究会からの提言とりまとめ	1 実施方針 25年度における研究会からの提言を踏まえ、実現化するための行動計画を策定し、民間活力を活用した導入を推進する。 なお、再生可能エネルギーについては、国内外での研究・開発が進められていることから、技術動向等を的確に踏まえた助言を得るため、研究会は継続して設置する。 2 スケジュール (1)研究会及び個別の具体策ごとに検討部会の設置 (2)行動計画の策定	再生可能エネルギー推進課	大学等、民間企業、金融機関

事業等の実施状況等について [H25年度新規事業]

資料 1-2

追加事業	振興の方向性	基本方針	推進施策	主な取組み	事務・事業名	事業期間	事業概要	予算額(千円)	24年度までの実施・検討状況	25年度の実施内容	26年度以降の実施計画	実施主体(所管)	関係機関等
	2	2	1	1 2	ものづくり企業元気おこし交流事業	H25年度	県内ものづくり企業の創意工夫を惹起し、新製品開発や販路拡大等の促進によって相互の経営基盤の強化を図っていくため、大学や公設試等との情報共有のものと、異業種間の交流・連携を促進する。	9,240	H25年度の国の緊急雇用創出事業に基づく県からの委託事業。	1 実施方針 講演会・研究シーズ等の発表会、県外の異業種交流会の開催などにより新製品開発への取り組みを促進する。 2 スケジュール (1)異業種交流会の設置(8月～3月) (2)同交流会の実施(8月～1月:現地視察含む) (3)講演会の実施(7月) (4)県外視察の実施(10月) (5)結果報告会(1月) 3 成果指標の目標値 (1)異業種交流会は3テーマごとに3回(8月・10月・12月)	H26年度以降は工業倶楽部で実施	工業倶楽部	県
	2	2	3	1	下請企業取引連携促進事業(雇用基金)	H25年度～	共同受注に向けた企業連携によるグループ化の検討など、下請企業の新たな事業展開を促進し、取引先の開拓と受注機会の拡大を図る。	6,735	—	1 セミナーの開催(1回) 共同受注・企業連携に関する専門家による講演 2 分科会の開催(3回) (第1回)「中小製造業と海外取引」 (第2回)「発注企業が受注企業に望むこと」 (第3回)「下請中小企業の自立化支援の取組」 3 先進地事例調査の実施(宮城県)	—	産業立地課(県)	委託先:(公財)かごしま産業支援センター
○	3	1	2	2	THE商人塾!事業	平成25年度	商店街の人材育成を通じ、商店街の活性化を図るとともに、商店街内外におけるネットワークの構築並びに情報交換の場を提供する。	1,740	—	講義8回(1コマ2時間) 先進地商店街視察1回 24名受講	—	商工会議所	
	3	1	3	2	みせづくりブラッシュアップ事業	H25年度～	小規模事業者が抱えている様々な経営課題の改善・解決を支援するため各分野の専門家を横断的に派遣する。	300	—	事業概要の通り 支援件数 5件	継続実施予定	商工会議所	
	3	2	1	1	クリエイティブタレント育成支援事業	H25年度～	市内デザイナーのスキルアップや製造業者等のデザイン面での事業革新を支援するため、新たにデザインコンテストを開催するとともに、デザイン関連講座を充実し、デザイン産業の人材育成や本市商工業者のマーケティング力の向上及び製品等の競争力強化を図る。	13,968	—	1.「かごしまデザインアワード2013」の開催 ・6月～7月:課題提供企業募集 ・8月～11月:作品募集(応募件数:307作品) ・12月:1次審査 ・1月:2次審査 ・2月:最終審査 2.デザイン関連講座の開催(10回) ・8月～9月:デザイン講座(5回) 定員:30名 ・10月～11月:ディレクター育成講座(5回) 定員:20名	引き続き、デザインコンテストの開催及びデザイン関連講座の充実を検討	産業創出課	
	3	2	1	1	2段ろくろ開口装置による洋装化織物の研究	25～26年度(短期)	2段ろくろ開口装置を備えた織機は、多様な織物が製作可能であり、2段ろくろ開口装置を利用して大島紬の製造技術を生かした大島紬の洋装化製品の需要拡大を図る。	165	—	・経糸密度、緯糸密度変化による織物試作 ・経糸密度、緯糸密度変化による織物の風合い検討 ・2段ろくろ開口装置を備えた織機による変化組織織物試作	・経糸始末の検討(ストールなど) ・餅や泥染め技術を活かした洋装化製品の試作(ストール、ネクタイ)	県(工業技術センター)	
○	3	2	2	1	かごしまのいいもの情報発信支援事業	H25年度～	ものづくり中小企業の製品の認知度向上及び販路拡大を図るため、かごしまのいいもの(製品)の情報を収集し、雑誌やテレビ番組等で紹介されるように首都圏のメディア等に向けて情報発信を行うとともに、企業のメディア等に向けた広報活動に対する助言・指導を行い、広報スキルの向上を図る。	5,656	—	(1)かごしまのいいもの(製品)の情報収集 (2)首都圏のメディア等に向けた情報発信 ・試食会の実施 (3)企業のメディア等に向けた広報活動に対する助言・指導 ・「プレスリリースの書き方」セミナーの実施	継続実施予定	産業支援課	
	3	2	2	2	JETRO WEBサイト(J-File)、メールマガジン(さくら通信)による情報提供	H25年度～	ジェトロが実施するイベントや関係機関等が主催するイベントについて定期的に情報発信を図り、ジェトロのサービスを幅広くPRする。	—	—	事業概要の通り	継続実施予定	ジェトロ	
○	3	3	2	1	コールセンターの魅力発見事業	H25年度～	鹿児島市企業立地推進方針に基づき、本市が重点的に取り組んでいるコールセンターの誘致にあたり、従業員の採用支援などを行うことで、魅力ある立地環境づくりを進め、あわせて、就業機会の拡大を図る。	959	—	1 スケジュール 25年12月 企画提案競技告示 26年2月 委託業者決定 26年3月 事業開始 2 実施回数 学生向け会社説明会の開催 3回	実施回数(予定) 学生向け会社説明会の開催 7回 求職者向けセミナーの開催 10回	産業創出課	

事業等の実施状況等について [H25年度新規事業]

資料 1-2

追加事業	振興の方向性	基本方針	推進施策	主な取組み	事務・事業名	事業期間	事業概要	予算額 (千円)	24年度までの実施・検討状況	25年度の実施内容	26年度以降の実施計画	実施主体 (所管)	関係機関等
	4	1	1	1	ビジネスドクターナビ事業	H25年度～	当所HP内に弁護士・税理士等の「工業」の専門家を資格ごとに案内する専用のページを開設し、事業者の課題解決のための土業者探しを支援する。	150	—	事業概要の通り ※登録専門家 50件	継続実施予定	商工会議所	
	4	1	1	2	消費税転嫁対策相談窓口相談等事業	H25年度～	2段階にわたる消費税率の引上げに備え、各地商工会議所において相談窓口を設置し、地域の中小・小規模事業者からの相談にワンストップで対応するため、個別相談派遣相談、講習会等を実施することで、地域の中小・小規模事業者が消費税率引上げ分を円滑・適正に価格に転嫁できるよう支援することを目的とする。	5,700	—	事業概要の通り	継続実施予定	商工会議所	
	4	1	1	2	経営改善支援センター	H25年度～	金融機関や税理士法人等の認定支援機関と連携して、自ら経営改善計画や再生計画を策定することが困難な中小企業・小規模事業者の改善計画等の作成を支援する。	87,680	—	事業概要の通り	継続実施予定	商工会議所	
	4	1	1	2	経営改善円滑化支援事業(経営改善アドバイザー)	H25年度～	中小企業金融円滑化法の終了に伴い、増加が見込まれる経営改善計画作成等について迅速に対応するため、経営改善アドバイザーを1名設置し、計画作成に係る窓口相談等を行う。	3,800	—	事業概要の通り	実施可否は3月決定	商工会議所	
○	4	1	1	2	消費税転嫁対策窓口相談等事業	H25年度～	2段階にわたる消費税率の引上げに備え、個別相談派遣相談、講習会等を実施することで、地域の中小・小規模事業者が消費税率引上げ分を円滑・適正に価格に転嫁できるよう支援することを目的とする。	6,090	—	セミナー3回開催 個別相談窓口設置1回 専門家派遣事業4回(見込)	継続実施予定	鹿児島県中小企業団体中央会	
○	4	2	2	2	輸出チャレンジ支援セミナー(ジェトロとの共催)	H25年度～	輸出に興味のある中小企業者や、輸出チャレンジ支援事業の補助を受けた中小企業者を対象に、輸出に関するセミナーを実施し、新たに輸出にチャレンジする事業者の掘り起こしを行うとともに、輸出に関するスキルアップを図り、アジアへの販路開拓を促進する。	0	—	セミナーを開催(H26.1.29) ・第1部 事例報告(2社) 展示会・商談会参加における体験談や反省点、成約へのハードル等を報告してもらい、参加者との意見交換を行った。 ・第2部 「貿易実務講座(初級編)」(ジェトロ主催) 参加者 47名、38社	継続実施予定	経済政策課	ジェトロ
	4	2	2	1	中小企業・小規模事業者ワンストップ総合支援事業(ミラサポ)(※H25は「中小企業・小規模事業者ビジネス創造等支援事業」)	H25年度～	中小企業・小規模事業者(創業予定者含む)が専門家と経営・起業に関する情報交換や相談に対応できるように、ITクラウドを活用した経営支援システムを開発・運営するとともに、高度な経営課題等の相談に対応するため、専門課派遣を行う。	—	—	事業概要の通り	実施可否は3月決定	商工会議所・かこしま市商工会	
○	4	3	1	1	ビジネスインキュベーション施設ホームページリニューアル事業	H25年度	ビジネスインキュベーション施設であるソーホーかごしまとソフトプラザかごしまのホームページを統合、リニューアルすることで、本市の創業支援に係る取組みを一体的に紹介するとともに、リアルタイムに情報を発信する体制を構築する。	2,016	—	(1)新たなホームページの作成(デザイン等のリニューアル) (2)ソーシャルメディアページの構築 (3)スマートフォン対応サイトの構築	—	産業創出課	
	4	3	1	1	創業応援ナビゲーター事業	H25年度～	創業者向けのメール配信やHP、ブログ等を通じて、施策や会議所の情報を伝え創業相談者の創出を図る。	50	—	事業概要の通り	継続実施予定	商工会議所	
○	4	3	1	2	女性起業家育成事業	H25年度～	地域に潜在している起業意欲を持った女性を対象に事業開始を目的として経営者としての基礎や商品開発等の学びの場のほかビジネスを通じた交流の場を提供する人材育成塾を開催する。	5,202	—	女性起業家育成スクールの開催 ・開催回数12回(12月～3月) ・定員15名	第2期のスクールを開催予定	産業創出課	

事業等の実施状況等について [H25年度新規事業]

資料 1-2

追加事業	振興の方向性	基本方針	推進施策	主な取組み	事務・事業名	事業期間	事業概要	予算額(千円)	24年度までの実施・検討状況	25年度の実施内容	26年度以降の実実施計画	実施主体(所管)	関係機関等
○	4	3	1	2	新規創業等育成支援事業の受託	H25年度～	鹿児島市から、市の新規創業等育成支援事業について業務委託を受け、主にセミナーや新規創業のための講義等を実施する	—	—	①インキュベーションマネージャーの配置 ②小規模及び新規創業者等向けセミナー及び交流会開催 ③情報関連セミナーの開催(②・③で全16回程度) ④ビジネスマッチング交流会の開催(全2回程度) ⑤ソーシャルビジネス事業者支援(助言、マッチング支援、アドバイザー派遣、データベース蓄積) ⑥鹿児島市新規創業事業の広報・アンケート実施及び市インキュベーションセンターの入居者募集等	平成26年度継続実施予定(拡充)スケジュール等は現在検討中。ただし継続事業については今年度とほぼ同様のスケジュールを予定。	鹿児島相互信用金庫	市
○	4	3	2	1	デザイン関連人材育成・交流支援事業	H25年度～	デザイン関連人材のスキルアップ教育やデザイン関連イベント、企業とのマッチング等を支援することで、高度なデザインスキルを有する人材の輩出やその活用、デザイナーの情報発信等を図る。	4,524	—	・デザイン関連イベント、企業マッチングイベントの開催(6回程度) ・デザイン関連スクールの開講準備 ・デザイナー等データベース構築 実施時期:H26.1～	デザイン関連スクールを開講するとともに、引き続きデザイン関連イベント等を開催予定	産業創出課	
○	4	3	2	2	中核的専門人材育成のためのグローバル・コンソーシアム参加	H25年度～	平成25年度文部科学省委託事業「中核的専門人材育成のためのグローバル・コンソーシアム」(代表校:九州大学)に参加している。進展するグローバル化を視野に入れつつ、地方においてビジネスを発展させていく方策として、大学、短大、専門学校といった教育機関が、体系的なリカレント教育(社会人の学び)を担っていくプランを構築することを目的としている。	—	—	鹿児島商工会議所の協力のもとに、鹿児島島の企業に対して、リカレント教育に関連したアンケート調査をおこなっている(現在集計中)。この結果を参考にし、本学が中心となり作成した原案を基に詳細なモジュールプランを作成する予定	継続継続予定	県立短大	
	4	3	2	2	商談スキルセミナー	H25年度～	海外見本市や、国内商談会等の事前準備として、同セミナーを実施する。商談の成果をより高めるため商談のノウハウ等を提供する。	—	—	事業概要の通り	継続実施予定	ジェトロ	
	4	3	2	3	「地域ナレッジ活性化センター」設置検討	H25年度	地域の知の拠点を構築するための学内組織を検討する。	検討中	個々の学内内部局にて地域行政等との連携を行ってきた。	学内及び関係機関を交えての意見交換会を開催した。	「地域ナレッジ活性化センター」を設置予定	鹿児島大学	鹿児島県、鹿児島市、薩摩川内市、与論町
	4	3	3	2	障害者技能向上支援事業	H25年度～	障害者の雇用促進につなげるため、特別支援学校の生徒を対象に技能体験教室を実施するなど技能向上の機会を提供する。	(予算額) 693 (決算見込額) 600	—	・障害者技能労働者奨励金の支給 40,000円(10,000円×4人) ・技能体験教室の開催 3回 15名参加(延べ人数) ・職場見学の開催 3回 20名参加(延べ人数)	・障害者技能労働者奨励金の支給 ・技能体験教室の開催 ・職場見学の開催 ・障害者技能向上奨励金の支給	雇用推進課	
○	4	3	3	2	長期実践型インターンシップ事業	H25年度～	長期間にわたるインターンシップのコーディネートを行い、大学生等に対し、仕事や地元企業を知り就職のイメージをつかんでもらう機会を提供するとともに、中小企業の事業拡大の支援等を行う。	(予算額) 16,056 (決算見込額) 16,056	—	・長期間のインターンシップの実施 13社20人 ※鹿児島県緊急雇用創出事業臨時特例基金事業を活用し実施。新規雇用者 4人	・長期間のインターンシップの実施 ※鹿児島県緊急雇用創出事業臨時特例基金事業を活用し実施。	雇用推進課	
○	4	3	3	2	仕事・職業人情報発信事業	H25年度～	インターネット等による様々な仕事や職業人等の魅力の情報発信などにより、就職活動中の学生等の情報収集を支援するとともに、職業観の醸成を促し、離職率の抑制や雇用のミスマッチの解消を図る。	(予算額) 5,790 (決算見込額) 5,790	—	・インターネットを活用した様々な仕事や職業人等の魅力の情報発信 ・若者と職業人との対話イベントの開催 ※鹿児島県緊急雇用創出事業臨時特例基金事業を活用し実施。新規雇用者 2人	・インターネットを活用した様々な仕事や職業人等の魅力の情報発信 ・若者と職業人との対話イベントの開催 ※鹿児島県緊急雇用創出事業臨時特例基金事業を活用し実施。	雇用推進課	
	4	3	3	2	若年者就職応援事業(雇用基金)	H25年度	厳しい雇用環境に置かれている若年者の再就職を支援するため、就業に必要な知識・技術を習得させる研修を行うとともに、県内企業等への一定期間派遣による雇用機会の提供を行うことにより、派遣期間終了後の常用雇用を目指す。	39,390	—	・雇用人数:30人 ・雇用期間:10月～2月	—	県	
	4	3	3	2	若年者雇用・人材育成事業(雇用基金)	H25年度～H26年度	潜在的な求人意欲のある創業間もない地元企業等において、地域資源を活用した新商品開発や販路開拓等の事業拡大に必要な人材を確保するため、若年未就職者を雇用し、人材育成を行うとともに、当該企業の成長を通じ今後の県内雇用の受け皿の拡大を図る。	140,273	—	・雇用予定人数:150人 ・事業実施期間:12月～3月	・雇用予定人数:150人(継続) ・事業実施期間:4月～11月	県	

事業等の実施状況等について [H25年度新規事業]

資料 1-2

追加事業	振興の方向性	基本方針	推進施策	主な取組み	事務・事業名	事業期間	事業概要	予算額 (千円)	24年度までの実施・検討状況	25年度の実施内容	26年度以降の実施計画	実施主体 (所管)	関係機関等
○	4	3	3	2	かごしまIT就職フェア	H25年度～	人材不足に悩む県内IT企業が学生にPRする場を提供するとともに、IT系企業への就職を望む学生等を支援する。 就職支援等を通して鹿児島市経済の活性化、インキュベーション施設(ソフトプラザかごしま)の周知を図る。	—	—	平成26年2月27日に実施。 平成27年3月卒業予定の学生、若年既卒者50名程度を対象に、企業プレゼンや企業個別訪問を通じて県内IT企業をあっせんするとともにIT企業の新入社員の体験発表会や講演会等を実施。	平成26年度継続実施予定(拡充)スケジュール等は現在検討中。ただし継続事業については今年度とほぼ同様のスケジュールを予定。	鹿児島相互信用金庫	・鹿児島市 ・(社)鹿児島県情報サービス産業協会